

野木町立野木中学校

生徒会長 岩崎 纏いわさき まこと 憩まほしい

野木中学校では、「さわやかなあいさつ 文武両道 光る汗」というスローガンを掲げています。私たち野木中生は勉強と部活を両立させ、何事にも全力で取り組み、光る汗を流せる生徒を目指して日々頑張っています。活気のある校内では、常にさわやかなあいさつが響いています。そんな野木中学校の学校行事を紹介いたします。

【合唱コンクール】

合唱コンクールでは全学年がクラスごとに決めた合唱曲を練習し最優秀賞を目指します。少しの時間も無駄なく使い、全力で練習します。本番には、各学級のオリジナルリテイ溢れる歌が響き、会場を感動の渦で包みます。

【運動会】

運動会では、学年での優勝を目指し各クラスごとに沢山練習をします。徒競走や借り人競走。各学年で用意される団体競技。工夫を凝らして、順位を競い合う姿は熱気を帯び、見る者を魅了します。

【潤心祭】

潤心祭は、自分で目標を決めどこまで成長できるか努力する講座や、その講座全体で作品を作り上げる講座などがあり、そのどれかに所属し活動します。毎年、潤心祭当日には、素晴らしい作品が揃います。

最近ではコロナの影響で行動が制限されますが、その中で沢山の人と触れ合える行事はとても大切な時間だと思えます。このような一つ一つの時間を大切に、素晴らしい野木中を全員で作りたいです。



「最優秀クラス大賞を受賞して」

伏木 勇人ふせぎ ゆうと

僕たち三年四組は、三年ぶりに再開された合唱コンクールで最優秀賞を取ることが出来ました。本番までには、大変なことや不安なことがありましたが、今までの練習の成果を発揮できたことが嬉しかったです。

一年、二年とコロナの影響で合唱コンクールの中止が続きました。その中で今年、三年生になり初めて最後の合唱コンクールを経験できたことを嬉しく思いました。練習していく中で、クラス内での意見のぶつかり合いや、上手くクラスがまとまらなかったことがありました。そんな中、他のクラスや他学年との合同練習で、自分たち以外の合唱を初めて聞き、焦りや不安が大きく募りました。このままではいけないと、担任の先生や仲間たちと話し合い、実践して少しずつクラスがまとまり気持ちが一つになっていきました。そして迎えた当日、午前中ギリギリまで指揮者、伴奏者、そしてクラスの仲間達と気持ちを一つにして高め合いました。ついに始まった初めての合唱コンク

ル。一年生はどのクラスも明るく輝いた歌声が響いていました。二年生は声の色彩が豊かで個性あふれる声が響いていました。三年生は全クラス後悔を残さないように全力で最初から最後までやり遂げました。それぞれの歌にクラスの個性が発揮され、色とりどりの歌声がホールいっぱいに広がりました。この合唱コンクールでどのクラスも絆が深まったと思います。この気持ちを忘れずにこれからも野木中生としてすべての活動に全力で臨みたいと思います。

「合唱コンクール実行委員長を経験して」

武田 実樹たけだ みき

私が合唱コンクールで実行委員長として学んだことは、協力することの大切さです。

新型コロナウイルスの影響で、三年ぶりの開催となった合唱コンクール。実行委員が初めて集まった際には、合唱コンクールのことをよく知らない私たちが無事に成功させることができるのか不安でいっぱいでした。しかし、三年前のことをよく知る先生方に合唱コンクールのことを教えていただきながら、みんな

で協力して準備を進めていきました。そして、合唱コンクール当日。各自が自分の役割をしっかりとこなしながら、臨機応変に対応し、無事にコンクールを円滑に進めることができました。

これらを通して、私は協力することの大切さを学びました。実行委員一人一人が協力しなければ、決して合唱コンクールは成功しなかったと思います。この合唱コンクールで学んだことを忘れず、他の行事等に活かしていきたいです。また、今回実行委員として活躍してくださった1・2年生の皆さんには、野木中の伝統を引き継ぎ、今後も合唱コンクールを成功させてほしいと思います。

